

譯であります。婦人の性慾減退症に對しては「ヨヒンビン」と牛の卵巢のエキスを配したものを作り、これを「テリガン」と命名して居りますが、殆んど同一の作用を呈するものと見られます。此の兩者は他の製剤に比して確かに卓越した効果を現はすものであつて、これによつて治療する例は可なり深山ある様であります。尤も「テストガン」を與へる時と雖も水治療法、電氣療法、其の他の一般療法を併用すべきは勿論であります。

「パリゼル」は彼の創製にかゝる「リュベシ」は性慾減退症に用ひて、「スタインナツハ」の手術に勝るのみならず、各種の性交不能症に對して有効であり、且つ適宜に分量を加減し得るの便があると云つて居ります。(Duitsche med. Wochensh. 1922)「パリゼル」は○五グラムの錠劑を一日三乃至四回與ふる時は、一定日の後患者は不安を覚え、刺戟性となり、色情に關する夢を見る様になり、遂には全く旺盛なる性慾を恢復する事が出來ると稱して居るが、「フラタウ」其の他の實驗によれば、それ程の効果はない様であります。

以上は性交不能症に對する療法の一環であります。が、もしこれ等の方法によつて症狀が輕快する時は、それと共に存在する神經衰弱の一般症狀も輕快するものであります。頭痛、記憶不良、注意散亂、胃腸障礙、便秘なども快癒するものでありますから、出來るだけの方法を講じて努力して見なければならぬのであります。

陰萎が頑固にして到底治療の望みがなく、性交は全く不可能なる場合如何様にもして、その目的を達せようといふ時は、機械的に支柱を用ふる方法があります。これは元々素人の考案したもので、日本にも西洋にもありますが、果して醫師の推奨すべきものなるや否や疑問であります。が、止むなくばこれを

用ふるより他詮方ないものと思はれます。更に勃起の衰退したる場合外科的手術によつて、陰莖背靜脈を結紮する法も擧げられて居りますが、これも亦實際には餘り役立たない様であります。

五、連續性陰莖強直の療法

連續性陰莖強直症は性慾異常亢進症と相違して、頻繁なる性交によつて輕減されるものでないから、寧ろあらゆる性的刺戟を避けなければならぬのであります。食物は淡白なものを選び、肉食よりも菜食を主とし、アルコール、コーヒーなどの刺戟物を禁するのであります。更に適當の方法を講じて衣服もしくは夜衣をもつて局所に摩擦を與へたり、壓を加へたりする事を避けなければなりません。

藥物療法としては多量の臭素劑を與へるのが最もいゝのであります。其の他に臭那と「コデイン」を配合したり、少量の「ヒオスチン」を與へたりします。「アダリン」も亦少量を持続させる時は有効であります。理學的療法としては、電氣療法、水治療法の他、攝護腺のマッサージを施すのがよい様であります。

苑 說

三たび歐米を訪ねて (上)

朝鮮總督府醫院々々
醫學博士 志賀 潔

其都度々々御知合の方にはあちらの御様子も御知らせ致して居ります。茲で私が貴重な時間を餘り長く御話するのも考へものだと思ひ、とりあへず極く荒すち道だけを御話し致しまして、今回の私の歐米視察記に換へ様と思つて居ります。本年五月二日横濱を春洋丸で出發致しまして、十八日桑港に着

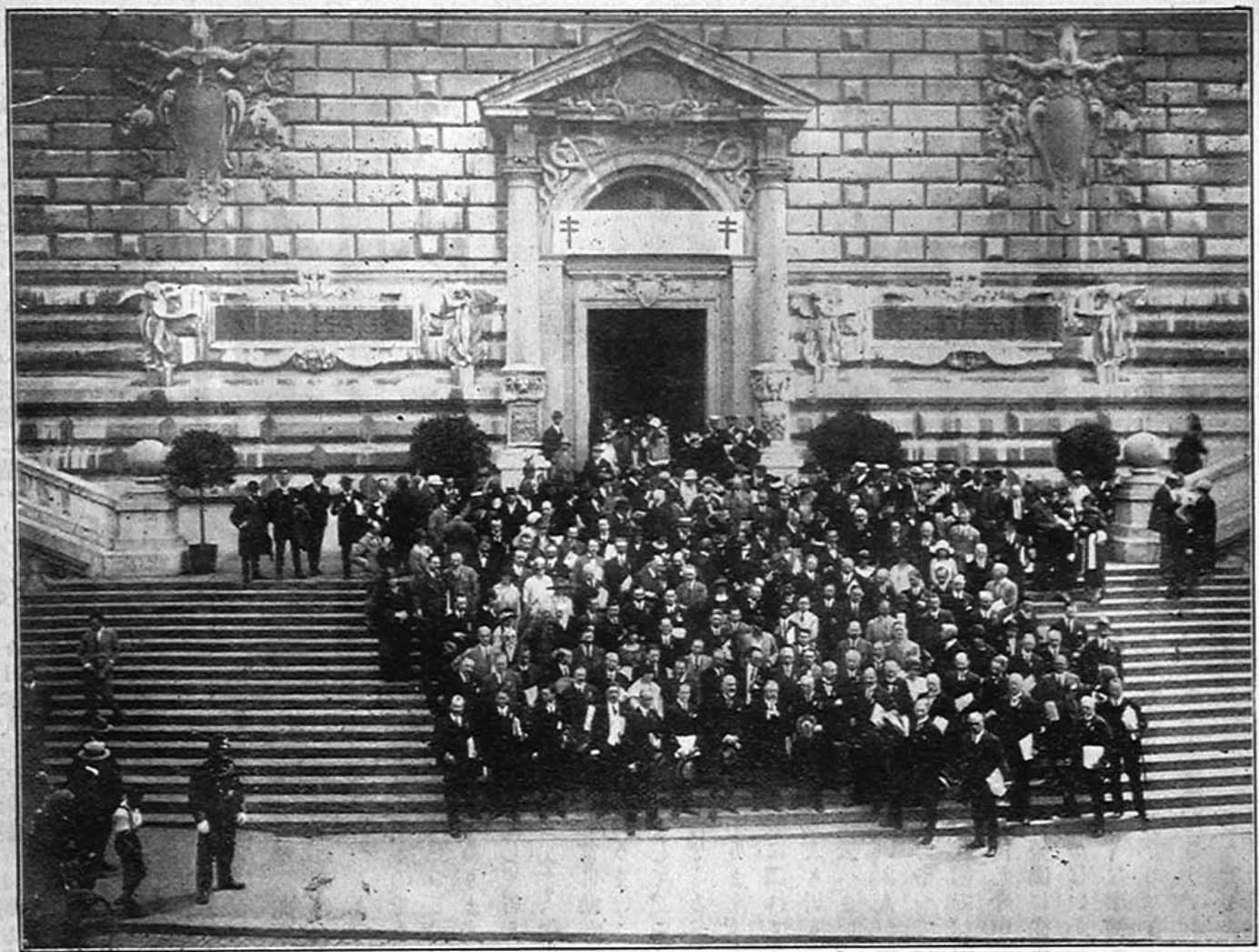
ます。病的強直が十數日を通じて、疼痛が劇烈である場合、手術によつて陰莖の勃起體を切除した例の報告もありますが、出來るだけは保守的療法を試みて見なければならぬのであります。

婦人の陰核強直症は男子の陰莖強直症程多いものではありませんが、時には醫治を要する様な場合があります。此の際も性交、手淫等を嚴禁して、出來るだけ局所の刺戟を避けさせるのが必要であります。又三十七八度の持續浴によりて大に輕快する事が少くありませんから、これも試みて見るべきであります。

藥物は陰莖強直症の場合に用ひられるものと全然同一でありますから、茲に繰返へす必要はないのであります。手術によりて陰核を除去する方法もありますが、通常性交の際快感が減退する懼がありますから、止むを得ない場合の他、行ふべきものではありませぬ。

(後一回老人性陰萎とスタインナツハの手術を述べて療法を終ります)

いたのであります。別に船中大した事もなく桑港に着いたのであります。途中ちよつとハワイに立寄りしたので、米國の御話しをする前にハワイに就て私の感じたことを申し上げねばなりません。先づ私が、ハワイに行つて驚ろいた事は何かと申しますと、嘗て私どもがハワイに行つて見た時分とは誠に隔世の感があることでありました。大變凡ての點で發展進歩して居りました。これには實際驚ろきまして、同行のごつちが同行だか知りませんが、ともかく同行の稲田龍吉君と、私かに語り合つて居つた位でありました。ハワイで日本人の地位はどうである



(本年西に開かれたる萬國核潔防疫會列者同一(志賀・田田博士共此の眞實の中に在り)

かと云ふことを先づ御話し申し上げますれば、これも亦驚ろく程向上して居るのであります。昔し私どもが行つた時分は未だ日本人と云ふと殆んど人間でない、と云ふ風に思はれて居たかして満足な生活は悉くして居らなかつたのであります。極めて非衛生的な生活をするものだと思はれて何をするにも日本人は一種のけ者に取扱はれて居る様な感じがしたのであります。今日、殆んど最うそんなことはなくなつて、日本人も白人同様の發展をし、あらゆる活動振りでも優れこそすれ、決して劣つて居ないといふ状態になつて居りまして、私はこんな状態を見て、

私かに心うれしく思つた程であります。日本人でも今日では最うどん／＼白人を下に使つて盛んに活動して居るのであります。何と驚ろくではありませぬか、これが極く僅かの年月の間に今日の地位の向上を齎したかと思へば、日本人の活動振りが人事ならずたのもしく思はれるのであります。そして私は日本人だから、一層痛快に思はれたのであります。日本人は洋行なんかするとかく氣が引けて小さくなつて居るものですが、私は先づ最初にこんな日本人の頼母しい處を見せつけられて、頗る男は見らるゝ通り小さいが氣だけは大きく持つて旅行することも出来たのであります。

私たちがハワイに着きましたら、恰度米國のスタンフォード大學の教授とヒュレットと云ふ米國の内科學の大家が来て居りました。これは稲田龍吉君が昨年何れ洋行するからと通知して居つたのでわざ／＼出迎へて呉れたのださうで、我々がハワイに着いて上陸するや否や、頗る丁寧な歡迎振りをして呉れて、二三日ハワイに滞在して直ぐこれ等の先生に連れられて米國に渡つたのであります。米國に渡ると早速兩先生の案内でスタンフォード大學を見學しましたから同大學の事に就て二三の私の感じたことを御話しやうと思ひます。同大學には在學生が三千位居るさうでありまして、日本人も四十八人か居りました。日本人も米人學生同様何等の差別も設けられずに頗る圓滿に研究を續け得られて居るさうで之は誠に私どもの嬉しく思つた處でありました。それからついでですから申しますが、加洲大學に就ては同大學は入學生に制限がある爲に、割りに學生もスタンフォード大學に較べると少い様でありました。併し本年などの卒業生は二千人からあつたさうで、うち二十人の日本人も居り、その二十人の日本人の一人は醫師だといふことでありまして、どうしてな

かゝ盛んなものであります。斯様な點からつくづく私は考へて見ましたが、日本人の地位は加洲に於ても、決して悔るべからざるものがある、と思つた



(十一月十九日北里研究所講堂に於ける米國米農家視察談話會演説)

々日本人の活動振りは到る處想像し得られぬ位發展して居るのであります。諸君も是非近く洋行でもなすので斯ういふ状態を見て置く必要が大いにあらうと思ひます。次に前二大學に於ける在學生の生活はどうであるかと申しますと、これもまた私は實は驚ろいたのであります。皆んな殆んど云ひ合した様に學業の傍ら勞働に従事して居るのであります。それぞれに各大學には學生集合所といふものがありますが、そこで給仕仕事をやつて居るのであります。十人位のアメリカ人に混つて、日本人も三四人居りました様であります。主に晝休みを利用して勞働して居るのださうで、これだけ働けば、つまり、食費が無料になつて、生活費が非常に助かると謂つて居りました。なる程うまいことをやつて居ると私は感心しまして、こゝにいふ組織は日本でも今後實行せらるべきものがあらうと思つたのであります。米國は金がある金がある

のであります。

今後二十年も経てば恐らく、加洲に於ても日本人は一大王國を作ることは左迄で困難なことではないと思へました。それは實際我

があつてもいへば、な事情からさうしてやつて居る人が多いのださうであります。それから次の問題は、業生の就職ださうであります。これがなかなか行かないさうで年々多數の卒業生は後から後

からと出て来るがこれを處置するのに始終學校當局でも悩んで居ると云ふことでありまして、醫科の方はそれ程でもない様ですが、經濟法律文學希望の學生は非常に困つて居るさうです。従つて、なるだけこれ等の方面には日本人を入學せしめない様な方法を取つて居るさうですが、これとて一時の糊塗策にしか過ぎないもので、米國としてもこれ等に對して今少し根底のある處置を取らなければなるまいと私は秘かに思つて居りましたが、ともかく現在に於てはこれは甚だしい日本人に取つての打撃であることは確かです。折角のアメリカ人と同様のアメリカ教育を受けて居り乍ら十分に活動することが出来得ぬといふ状態であることは如何にも遺憾であると私は思つたのであります。全くこれ等の人は途方に暮れて終ふ。日本に歸つても「なにアメリカ歸りか」といふ譯で大した好遇も受けられないと云ふ始末で、大學卒業生の就職問題は單にアメリカ人のみの問題でなく斯うなると全くその脅威は日本人にもつまり關係して來ると云ふ譯なのであります。

夫れから排日問題はどうかと謂ひますと私も恰度滞在中盛んに論議せられて居つた様であります。一般には割にその影響もなく、好遇振りは依然として變りはなかつた様でありました。併し日本人の加洲に於ける状況を聞くと色々なことが矢張ある様で三菱だかの支店長だつたか、アメリカの土地を買ひ入れたさうであります。それを聞いた土着のアメリカ人は頗る憤慨して、そこから立退きを迫つたといふことであります。こゝにいふ風な事ではよいちよい矢張つまらぬ確執はある様で、爲に兩國人の感情上に思はぬ悪影響を残すことはどうも否定されぬ様であります。併し、まあ、この場合はその日本人も相當な人であり、そんな不法な事はと飽迄反抗して馬鹿を見なかつた爲にともかく落着はしたさ

うであります。斯う云ふ様なことは單に加洲許りだけではないと云ふことであります。ローザンゼルスにはなかく日本人が發展して居ります。こゝは活動寫眞の本場ださうで、偶然にも例の新聞などでもちよい／＼その消息が傳へられて居る俳優上山草人と云ふ人に會つたりしまして、なかく愉快でした。この人は段々話しを聞いて見ますと、私とは同郷ださうでした。お蔭で今までゆつくり見たこともない活動寫眞を存分案内せられ、殊に稲田君などは多少中毒氣味で、大變悅に入つて居つたりした位でありました。ローザンゼルス日本人は極めて非衛生的な生活をして居りまして十分日光なども道入らない家に皆んな住んで居るので私はこれはいけないと實は甚だ驚ろいて來ました。矢張こゝでも日本人が一緒になつて、住宅地として郊外に土地を買はうとしたら、排斥せられて沙汰止みとなつたと云ふ話してあります。その排斥方が頗る露骨で加洲在留の日本人には今後何とか早く有利な解決を與へる様にしないと、やがてこれは重大な結果をもたらす恐ろしい原因になるのではなからうかと、私は甚だ憂はしく思つたのであります。

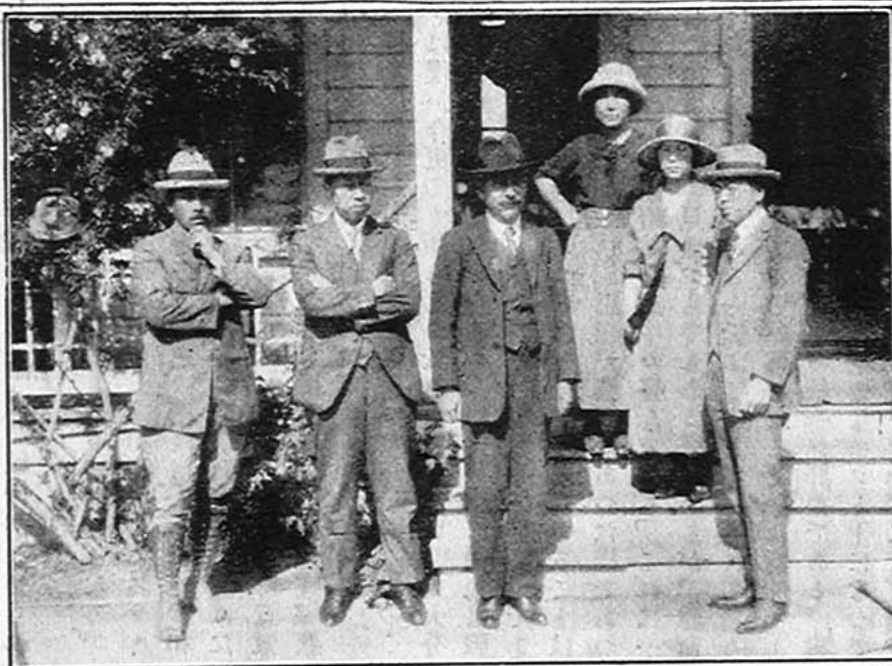
歐米旅行記(下)

慶應義塾大學醫學部助教授

醫學博士 北川正淳

それからナポリで面白いと思つたのは、同地には國家の援助の下に捨兒場のある事であつた。恐らく國立捨兒場などといふものは未だ何處にもあるまい。この國立捨兒場の存在理由とする所が頗る興味あるもので、捨兒をしなければならぬ様な者は、非常に哀れむべき境遇にあるものである。この哀れむべき

境遇に陥つて一人の子供を育て得せしめないのは、原因は實は社會の罪である。だからこれに對しては社會が相助けて、これを養ふべきであると謂ふのである。これは誠に尤もな話だ。晩近我が國でも大分社會問題が論議せらるゝの機運に立至つて來



米國サリナス市に於て(右端より小田トクトル、同夫人、一人置いて種波農務省技師、北川博士等)

た。これに就て段々斯様な見地から實際的に社會的設備が加へらるるに至るであらうと思ふ事は、僕の愉快とする處である。尙同國立捨兒場は飽迄愛他的精神で一貫して居るので、例へば、子供が成長して

來た、母親が子供に會ひたくなつた、さう云へばどしどし會はせる。その間更に同國立捨兒場は細心な注意を拂つて、母親に僻んだ心を起さしめない様にする爲に希望の場所まで面會にやつて、別れる時には更に母親をして手土産を與へせしめる様にする。そして子供をして親切な路傍の人であると云ふ氣持を失なはせしめない様にして居るのであつた。嘗ては餘儀ない事情の爲に子供を棄てた。併し今日では子供を育て得るに至つた、貰ひ受けたいと謂つて來れば遠慮なく子供を返してもやる。その間の事情が實に微妙に働いて居つて、子供には自分を捨てた親だ、親には子供に不幸を見せたと云ふ暗い氣持を互ひに起さしめない様にして居る。社會制度に依つて起る不幸を斯うした施設で救済して行くといふことは誠に望ましいことで、日本等も遂日この方面にも新らしい施設が加へらるゝことを僕は望んで居る。伊太利では殊にこの種の施設が發達して居つた。

ナポリから次に僕はフロレンスに行つた。フロレンスは最う諸君の御承知の處で、別に特記すべき事もない。フロレンスの次がヴェニスであつた。ヴェニスも亦御承知の通り、景色のよい處で、如何にも詩的な處である。僕などの居た下宿屋の下を直ぐもう水が流れて居つて、それに灯影がゆらぐ様は殊によかつた。同地は非常に物價の安い處で住み易い處ださうであつた。

次いでウキン、同地は狼瘡治療としては好適の地で、フィンゼンと云ふ機械が五臺もあつた。ウキンには約二週間位滞在して居つた。こゝも亦景色のよい處だ。古い都だけに何となく落ついた心持になつて、心氣の爽やかなものがあつた。處がさう云ふ落ついた古都でも流石に時代の流れは争はれないもので當時、電車従業員のストライキがあつて、その結果が、仲々正々堂々たるものだけに堅かつたのには僕